



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
コード番号 7552 URL <https://www.happinet.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 水谷 敏之
問合せ先責任者（役職名） 取締役最高財務責任者（氏名） 石丸 裕之（TEL）03-3847-0410
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	196,435	16.5	8,710	33.5	8,917	33.9	6,671	52.1
2025年3月期中間期	168,547	4.7	6,523	38.0	6,660	35.9	4,386	6.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 7,476百万円（62.0%） 2025年3月期中間期 4,614百万円（△0.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	303.88	299.09
2025年3月期中間期	198.06	194.96

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	133,218	60,804	45.3
2025年3月期	121,452	55,672	45.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 60,402百万円 2025年3月期 55,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	105.00	130.00
2026年3月期	—	25.00			
2026年3月期（予想）			—	15.00	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2025年11月13日開催の取締役会において、2026年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施することを決議いたしました。そのため、2026年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

なお、2026年3月期の期末配当金の予想値につきましては、当社の利益配分に関する基本方針に基づき安定的な配当を記載しております。2026年3月期の期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、別途検討いたします。

詳細につきましては、2025年11月13日公表の「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更、配当予想の修正および配当方針の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	390,000	7.0	11,800	1.0	12,000	0.3	7,200	6.4	163.28

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2025年11月13日開催の取締役会において、2026年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施することを決議いたしました。2026年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は326円57銭となります。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）株式会社ハピネットファントム・スタジオ

（注）当社の完全子会社であった株式会社ハピネットファントム・スタジオは、2025年4月1日付で同じく当社の完全子会社である株式会社ハピネット・メディアマーケティングを存続会社とする吸収合併により消滅したため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	24,050,000株	2025年3月期	24,050,000株
2026年3月期中間期	2,092,583株	2025年3月期	2,104,362株
2026年3月期中間期	21,954,097株	2025年3月期中間期	22,149,491株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数（中間期）の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（J-ESOP）」及び「株式給付信託（BBT）」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有している当社株式を含めております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、2025年11月13日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社グループの関連業界におきましては、大人需要やインバウンド需要を取り込んだ市場が堅調に推移している一方で、物価の上昇や、少子化、消費者ニーズの多様化、エンタテインメントのデジタル化が進むなど、依然として先行きが不透明な状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、玩具事業やアミューズメント事業が引き続き好調に推移したことに加え、ビデオゲーム事業がヒット商品により伸長し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,964億3千5百万円(前年同期比16.5%増)、営業利益は87億1千万円(同33.5%増)、経常利益は89億1千7百万円(同33.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は66億7千1百万円(同52.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①玩具事業

玩具事業につきましては、BANDAI SPIRITSの「一番くじ」をはじめとした、くじ商品が依然好調に推移していることに加え、一般玩具の販売も堅調に推移したことや、雑貨など、コンビニエンスストア向けの新商材の販売も貢献し、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は860億7百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント利益は50億4千6百万円(同12.0%増)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、映像パッケージ制作・流通事業の拡大による売上増加に加え、流通事業でMrs. GREEN APPLEのアルバム「10」などのヒット商品もあり、売上高は前年同期を上回りました。利益面につきましては、当社買付洋画作品の投資損失が発生したことにより、前年同期を大幅に下回りました。

この結果、売上高は304億9千2百万円(前年同期比6.1%増)、セグメント利益は4億3千4百万円(同41.8%減)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、6月に発売された任天堂のゲームハード「Nintendo Switch 2」と関連アクセサリが好調に推移したことに加え、「マリオカート ワールド」や「ドンキーコング バナナザ」などの関連ソフトの販売も伸長したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は487億8千3百万円(前年同期比34.1%増)、セグメント利益は11億9百万円(同458.1%増)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、カプセル玩具市場が引き続き好調に推移していることに加え、当社が運営するカプセルトイショップ「ガシャココ」や、当社がバンダイナムコアミューズメント社と共同運営を行うカプセルトイショップ「ガシャボンバンダイオフィシャルショップ」「ガシャボンのデパート」の店舗の増加も貢献し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。なお、「ガシャココ」は2025年9月末日時点で143店舗を出店しております。

この結果、売上高は311億5千2百万円(前年同期比22.6%増)、セグメント利益は28億8百万円(同64.6%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ117億6千6百万円増加し、1,332億1千8百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加88億3千2百万円、棚卸資産の増加24億7百万円、電子記録債権の増加24億6百万円及び、現金及び預金の減少44億3千6百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ66億3千3百万円増加し、724億1千3百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加84億3千4百万円及び未払法人税等の減少2億4百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ51億3千2百万円増加し、608億4百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益計上による利益剰余金の増加66億7千1百万円、その他有価証券評価差額金の増加7億9千2百万円及び剰余金の配当による利益剰余金の減少23億6千1百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日の「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました2026年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社は、2025年11月13日開催の取締役会において、2026年1月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施することを決議しました。2026年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しています。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,005	36,568
受取手形及び売掛金	38,016	46,848
電子記録債権	2,821	5,227
棚卸資産	8,160	10,567
その他	6,939	8,113
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	96,938	107,319
固定資産		
有形固定資産	5,629	5,349
無形固定資産		
のれん	2,044	1,752
その他	1,867	1,761
無形固定資産合計	3,911	3,513
投資その他の資産		
投資有価証券	9,136	10,236
その他	5,839	6,802
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	14,972	17,035
固定資産合計	24,514	25,899
資産合計	121,452	133,218
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,814	50,248
未払法人税等	2,767	2,562
賞与引当金	338	399
その他	13,601	11,549
流動負債合計	58,522	64,760
固定負債		
株式給付引当金	315	324
役員株式給付引当金	343	343
退職給付に係る負債	3,434	3,553
その他	3,163	3,431
固定負債合計	7,257	7,653
負債合計	65,780	72,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	3,353	3,353
利益剰余金	47,103	51,413
自己株式	△2,996	△2,978
株主資本合計	50,212	54,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,066	5,858
繰延ヘッジ損益	△8	3
その他の包括利益累計額合計	5,057	5,862
新株予約権	402	402
純資産合計	55,672	60,804
負債純資産合計	121,452	133,218

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	168,547	196,435
売上原価	146,868	171,396
売上総利益	21,679	25,039
販売費及び一般管理費	15,156	16,328
営業利益	6,523	8,710
営業外収益		
受取利息	3	36
受取配当金	118	113
その他	117	82
営業外収益合計	239	233
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	75	—
その他	26	25
営業外費用合計	102	26
経常利益	6,660	8,917
特別利益		
固定資産売却益	10	2
投資有価証券売却益	—	10
関係会社清算益	95	—
特別利益合計	106	12
特別損失		
固定資産除却損	10	4
投資有価証券評価損	81	—
特別損失合計	92	4
税金等調整前中間純利益	6,674	8,925
法人税、住民税及び事業税	1,892	2,469
法人税等調整額	394	△215
法人税等合計	2,287	2,254
中間純利益	4,386	6,671
親会社株主に帰属する中間純利益	4,386	6,671

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	4,386	6,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	269	792
繰延ヘッジ損益	△41	12
その他の包括利益合計	228	804
中間包括利益	4,614	7,476
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,614	7,476
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,674	8,925
減価償却費	811	692
のれん償却額	292	292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	73	61
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	96	118
受取利息及び受取配当金	△122	△150
支払利息	0	0
固定資産除売却損益(△は益)	0	1
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△10
投資有価証券評価損益(△は益)	81	—
為替差損益(△は益)	3	6
売上債権の増減額(△は増加)	2,306	△11,238
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,715	△2,407
仕入債務の増減額(△は減少)	3,809	8,434
その他	△2,668	△3,737
小計	9,641	990
利息及び配当金の受取額	121	153
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△2,773	△2,661
法人税等の還付額	—	29
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,988	△1,488
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△993	△192
有形固定資産の売却による収入	14	3
無形固定資産の取得による支出	△236	△79
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	—	67
貸付けによる支出	△241	△377
その他	△17	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,479	△585
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,142	△0
配当金の支払額	△2,287	△2,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,430	△2,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,078	△4,436
現金及び現金同等物の期首残高	29,652	40,977
現金及び現金同等物の中間期末残高	31,731	36,540

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	78,011	28,743	36,383	25,408	168,547	—	168,547
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	78,011	28,743	36,383	25,408	168,547	—	168,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	78,011	28,743	36,383	25,408	168,547	—	168,547
セグメント利益	4,505	746	198	1,706	7,157	△634	6,523

(注) 1. セグメント利益の調整額△634百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△634百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオゲーム 事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	86,007	30,492	48,783	31,152	196,435	—	196,435
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	86,007	30,492	48,783	31,152	196,435	—	196,435
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	86,007	30,492	48,783	31,152	196,435	—	196,435
セグメント利益	5,046	434	1,109	2,808	9,399	△689	8,710

(注) 1. セグメント利益の調整額△689百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△689百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

(連結子会社間の吸収合併)

2025年4月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社ハピネット・メディアマーケティングを吸収合併存続会社、同じく当社の完全子会社である株式会社ハピネットファントム・スタジオを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。

1. 企業結合の概要

(1) 結合当事企業の名称及び事業の内容

①結合企業

名称 株式会社ハピネット・メディアマーケティング
事業の内容 映像・音楽ソフトの販売

②被結合企業

名称 株式会社ハピネットファントム・スタジオ
事業の内容 映像作品の企画・製作・配給・宣伝

(2) 企業結合日

2025年4月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社ハピネット・メディアマーケティングを存続会社とする吸収合併方式とし、株式会社ハピネットファントム・スタジオは効力発生日をもって解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称

株式会社ハピネット・メディアマーケティング

(5) その他取引の概要に関する事項

本合併は、当社グループの経営資源の有効活用によるシナジー効果を創出することを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行っております。

(重要な後発事象)

(株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2025年11月13日開催の取締役会において、株式分割および定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

1. 株式分割

(1) 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えることにより、当社株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2025年12月31日(当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2025年12月30日)の最終の株主名簿に記載又は記録された株主様が所有する普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	24,050,000株
今回の分割により増加する株式数	24,050,000株
株式分割後の発行済株式総数	48,100,000株
株式分割後の発行可能株式総数	128,000,000株

(3) 日程

基準日公告日	2025年11月28日(予定)
基準日	2025年12月31日
効力発生日	2026年1月1日

2. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2026年1月1日をもって当社定款第6条(発行可能株式総数)を変更いたします。

(2) 定款変更の内容(変更箇所を下線を付しております。)

現行定款	変更後定款
第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>64,000,000株</u> とする。	第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>128,000,000株</u> とする。

(3) 日程

取締役会決議日	2025年11月13日
効力発生日	2026年1月1日

(株式給付信託(BBT及びJ-ESOP)への追加拠出)

当社は、2025年11月13日開催の取締役会において、「株式給付信託(BBT)」(以下「BBT制度」といい、BBT制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結した信託契約に基づいて設定されている信託を「BBT信託」といいます。)及び「株式給付信託(J-ESOP)」(以下「J-ESOP制度」といい、J-ESOP制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結した信託契約に基づいて設定されている信託を「J-ESOP信託」といいます。)に対して、金銭を追加拠出することを決議いたしました。

1. 追加拠出の理由

BBT制度及びJ-ESOP制度の継続にあたり、将来の給付に必要と見込まれる株式をBBT信託及びJ-ESOP信託が取得するための資金として、BBT信託及びJ-ESOP信託に金銭を追加拠出(以下「追加信託」といいます。)することといたしました。

2. BBT信託に対する追加信託の概要

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| (1) 追加信託日 | : 2025年12月1日 |
| (2) 追加信託金額 | : 1,212,500,000円(注) |
| (3) 取得する株式の種類 | : 当社普通株式 |
| (4) 取得株式数の上限 | : 201,000株 |
| (5) 株式の取得期間 | : 2025年12月1日から2025年12月30日まで(予定) |
| (6) 株式の取得方法 | : 取引所市場より取得 |

(注) BBT信託は、追加信託金額(1,212,500,000円)及び信託財産に属する金銭(94,000,000円)の総額を原資として当社株式の追加取得を行います。

3. J-ESOP信託に対する追加信託の概要

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| (1) 追加信託日 | : 2025年12月1日 |
| (2) 追加信託金額 | : 616,500,000円(注) |
| (3) 取得する株式の種類 | : 当社普通株式 |
| (4) 取得株式数の上限 | : 105,000株 |
| (5) 株式の取得期間 | : 2025年12月1日から2025年12月30日まで(予定) |
| (6) 株式の取得方法 | : 取引所市場より取得 |

(注) J-ESOP信託は、追加信託金額(616,500,000円)及び信託財産に属する金銭(66,000,000円)の総額を原資として当社株式の追加取得を行います。